

熊大訪問、今年も行ってきました

9月17日に、2年生が熊大訪問を行いました。小川学長、城本情報融合学環長、富澤副学長からのお話のあと、各学年生徒代表6名が探究内容を発表して、富澤副学長と藤瀬附属学校統括長からアドバイスをいただくという、大学の先生方のお力を借りた学習内容でした。昨年度もそうでしたが、学長と副学長と学環長が同時に講演いただくという内容は、**附属中学校だからこそ実現**できたものです。熊本大学関係者のご協力に、改めて心から感謝申し上げます。

午前中の講演は、右のプレゼンを使って、興味深いお話をいただきました。先生方のお話の後、生徒からも質問が相次ぎ、時間が足りないほどでした。生徒の**知的好奇心を高めていただいたことをありがたく**思います。

個人的に印象に残った点をご紹介します。小川学長は、「附中生への提言」というタイトル通り、これからの熊本の姿や向かうべき方向、オープンイノベーションの大切さを示していただきました。附中生にこれからの熊本や日本や世界を担っていくべきことをご教示いただき、多くの生徒の志に火をつけてくださいました。

熊本大学附属中学校 探求学習講演会
「熊大附中生への提言」

熊本大学長 小川久雄
熊本大学工学部百年記念館講堂
令和7年9月17日(木)

2025年9月17日
令和7年度教育学部附属中学校における総合的な学習の時間（探究学習）

暗号と数学

熊本大学 情報融合学環長
教授 城本 啓介（しろもと けいすけ）

附属中学校体験学習

**血糖について
糖尿病ってどんな病気？**

熊本大学
理事・副学長（大学改革・評価担当）
教授（大学院生命科学部）
富澤 一仁



学長への質問

城本学環長は、「暗号と数学」として、現在使われているRSA暗号と素因数分解の関係から、実生活に役立っている数学について話していただき、生徒の数学への興味を高めていただきました。

富澤副学長は、糖尿病について、日本人と欧米人との違いや実験用ラットにも触れながら、医学研究とは何かをわかりやすく話していただき、生徒の医学への関心を高めていただきました。

午後からは、熊大図書館を散策した後、代表6名による探究課題の発表でした。校長として、6人のプレゼンが充実していることに感心すると共に、頼もしく思いました。富澤副学長と藤瀬統括長からの発表へのアドバイスは、さすが研究者と思える的確な内容で、代表以外の生徒にとっても、参考になる部分が多かったと思います。

特に、学長からの「提言」を2つのポイントとしてまとめていただいたので、その内容を紹介します。

(1) 挨拶、勉強、体力

自分のやりたいことを実現するためには、この3つが大切になる。中学校時代にできることをやっておくことが将来の自己実現につながる。特に挨拶はコミュニケーションの基本である。

(2) 専門外に興味を持って、違う分野の人と話す

同じ環境・職種の人だけで話し合っても（クローズイノベーション）いいものは生まれない。様々な環境・職種の人で話し合う（オープンイノベーション）ことで、いいものが生まれていく。

(2)については、副学長も学環長も「**多くの人とのコミュニケーション**が自分の力量を伸ばす」と、述べていらっしゃいます。一流の研究者の言葉を、生徒諸君がしっかりと受け止めてくれたものと期待しています。

今後は、日常的な探究への大学からのアドバイスにつなげ、大学附属の強みをさらに発揮することになればいいなと、考えています。